

編集 後記

新型コロナウイルスのある日常を前提としつつ、観光地での人の多さに目を見張る毎日です。一方、研究や教育については、国内外の出張が増え対面講義もほぼ復活し、コロナ以前の日常に近づきつつあります。同時に、オンライン講義・オンライン会議を併用など、テクノロジーの進化を通じて方法が多様化しているのを実感する今日この頃です。

さて、第70巻2号では、原著4編を掲載しています。鈴木らの論文では、東日本大震災被災地域における高齢者を対象とした調査より、住居形態による「物理環境」・「社会環境」のリスクを明らかにしています。物理環境や社会環境はそこに居住する人々の健康リスクにも関わるため、災害の多い日本にける住居支援や高齢者への介入に関する示唆に富む結果です。大野らと岩佐らはオンラインでの質問票調査を実施した解析を行っています。大野らの全国調査では、テキストマイニングを用いた混合研究手法を用いて、COVID-19対策下におけるこどもの意見（意見と実行案）について明らかにしており、COVID-19のある日常における、こども達の行動や気持ちが制限を受けている影響が示されています。岩佐らの論文では、子供を養育する父親を対象とした調査から、平等な性別役割分業観を持つ、あるいは配偶者やパートナーから育児・家事参加に対する肯定的な評価を受ける父親は「育児」および「家事」得点が高い、すなわち育児参加する傾向にあることが示唆されました。また、伝統的な性別役割分業観をもつ父親でも、育児や家事の仕方に関するサポートがあると感じる父親は育児参加する傾向があることが示されています。寺内らは、国民健康保険のレセプトデータを用い、中高年向け運動教室への参加が健康増進や疾病予防を介して医療費抑制に寄与する可能性を示しました。

公衆衛生分野では、様々なテーマに取り組むべく多様な方法での研究が行われ、本誌にその貴重な結果が報告されています。今後ともこのような貴重な知見を投稿いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(上田佳代)

次号予告（第70巻・第3号）

論壇

諸外国でのがん登録データの地理情報の利用事例とわが国の全国がん登録の諸問題

.....片野田耕太, 他

原著

新型コロナウイルスワクチン接種状況と接種証明書
書の活用に関する意識：2021年9-10月の調査
(JACSIS 研究).....田中宏和, 他

公衆衛生活動報告

山形県における時空間三次元地図を用いた新型コロナウイルス感染症流行可視化の取り組み

.....瀬戸順次, 他

新型コロナウイルス感染症下における県立大学と
広域自治体の連携事例：神奈川県 EBPM プロ
ジェクトの成果と課題.....江頭勇紀, 他